

政務活動費收入調書兼証拠書類等貼付用紙

会派名	創和クラブ"
整理番号	-

収入年月日	令和7年2月10日
収入金額	4,024 円
内 容	預金利息
備 考	

$$529 + 3,495 = 4,024$$

(令和6年 8月13日 529円)
(令和7年 2月10日 3,495円)

証拠書類等貼付欄

13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

24 6・8・13 お利息 529

摘要の「他店券()」内の数字は、その小切手等の金額を出金(現金・振替)していただける日付を表します。ただし、(日付)の後ろに※印のあるものは、当日の14時までは、出金していただくことができませんのでご注意ください。いずれも、出金していただけるのは、決済が確認できた場合に限ります。なお、出金していただけるまでにかかる日数は、小切手等の決済地・方法によって異なりますので、詳細は窓口へお問い合わせください。

13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24

7・2・10*お利息 3,495

摘要の「他店券()」内の数字は、その小切手等の金額を出金(現金・振替)していただける日付を表します。ただし、(日付)の後ろに※印のあるものは、当日の14時までは、出金していただくことができませんのでご注意ください。いずれも、出金していただけるのは、決済が確認できた場合に限ります。なお、出金していただけるまでにかかる日数は、小切手等の決済地・方法によって異なりますので、詳細は窓口へお問い合わせください。

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	A 1 - /

項目

- 研究研修費 調査費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

支出年月日

令和 6 年 5 月 7 日

支出額

49,340 円 (按分率 %)

支出内容

旅費(5/10~11) 知吉屋

備考 本旅費請求内訳表添付。

A1-1

旅費請求内訳表

旅行先 名古屋市(特別職)		用務 政務活動のため						旅行期間 自 5月10日 至 5月11日		日数 1泊2日
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄道賃			船 航空 賃	車 賃 実費又 は定額	日 当	宿泊料	摘要
			運 賃	特 別 車 両 料	急 行 料					
										定額表利用 A1621
C ○										合計 ¥ 49,340 円
計		0.0	-	-	-	-	-	-		

航空機利用区間

公用車等利用区間

請求書

下記のとおり請求します。

令和 6年 5月 日

創和クラブ 代表者 中村 元彦 様

所 属	等級	運 賃	日 当	そ の 他	旅 費	支 給 額	氏 名	請求印	領收印
職 位			宿 泊 料	料 金	定 額 表				
○ 議 員	市長級	-			A1621 C1+(F1*2) 26,240 23,100	49,340	遠藤 富士雄		
計		- 円	- 円	- 円	49,340 円	49,340 円	1 人		

政務活動報告書

1 活動期間	令和6年5月10日(金)~11日(土)
2 活動日数	1泊2日
3 参加者	創和クラブ 遠藤富士雄、井上直樹
4 活動先	愛知県(名古屋市)
5 活動用務	台湾サミットの打合せ・全国日台交流協議会総会 名古屋城建替え視察・台南市議会議長意見交換会
6 活動概要	<p>5月10日(金)</p> <p>(1) AM8:41発 くろしお10号にて出発 10:16発新幹線のぞみ8号にて名古屋へ 10:55 名古屋着 タクシーにて名古屋城へ</p> <p><u>蓬左亭にて</u> <u>昼食を取りながら</u> <u>台南市議会 邱莉莉議長</u> <u>郭貞慧財團法人台南市日文化友好交流基金會會長 他3名</u> <u>井上直樹議員と私とで意見交換会</u></p> <p><u>7月28日~台湾サミットIN台南の時に29日10:00から</u> <u>台南市議会にて表敬訪問の打合せ</u></p> <p><u>MOU(覚書)の今後の推進についての意見交換 などなど</u></p> <p>その後</p> <p>15:00~ 中日ホール&カンファレンスにて 全国日台友好議員協議会の役員会に出席</p> <p>16:00~ 中日ホール&カンファレンスにて 全国日台友好議員協議会の総会に出席</p> <p>17:00~ 全国日台友好議員協議会懇親会 謝長廷駐日大使・台南市議会 邱莉莉議長 郭貞慧財團法人台南市日文化友好交流基金會會長</p>

5月11日(土)

朝10時00分

名古屋市役所の案内にて名古屋城建替え視察

12:30~

名古屋国際会議場 2号館にて

「台湾文化祭」に参加

PM14:10発 新幹線のぞみ33号にて新大阪へ

15:13発くろしお17号にて出発

16:15 和歌山着

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	A5 - 1

項目

- 研究研修費 調査費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

支出年月日	令和 6 年 8 月 6 日		
支出額	197,945 円 (按分率 %)		
支出内容	旅費(台湾 7/28 ~ 7/31) ・台湾サミット参加		

備考 ※ 旅費請求内訳表別途添付。

A 5 - 1

旅費請求内訳表

旅行先		用務						旅行期間		日数
台南市、高雄市(特別職)		日台交流サミットin台南及び高雄市議会・市政府表敬訪問等						自7月28日至7月31日		3泊4日
月日	旅行経路	路程km	鉄道賃			船 航空 賃	車 賃 実費又 は定額	日当	宿泊料	摘要
			運賃	特別 車 両 料 金	急行料					
7/28	和歌山市 - 台南市 高雄市									バス移動のため、旅費及び日当の調整 宿泊施設指定のため宿泊料の調整 丙地方
							106,000	9,595 33,700	2,850	35,850
7/31	高雄市 - 和歌山市									人事課計算 (24-0071)
										合計 ¥197,945 円
計			-	-	-	106,000	43,295	2,850	35,850	

航空機利用区間	日当 市長級 2,850円×1(昼食)
	宿泊料 市長級 5,000円×1(夕食・パック旅行分) 16,300円×1(宿泊朝食付き、パック旅行) 7,275円×2(宿泊朝食付き)
関西国際空港→台湾桃園国際空港	
高雄国際空港→関西国際空港	

請求書

下記のとおり請求します。

令和6年 7月 日

創和クラブ 代表者 中村 元彦 様

所 属	等級	運 賃	日 当	そ の 他	旅 費	支 給 額	氏 名	請求印	領收印
位			宿 泊 料	料 金	定額表				
	市長級	149,295	2,850	9,950		197,945	遠藤 富士雄		
議 員			35,850						
計		149,295 円	38,700 円	9,950 円	- 円	197,945 円	1 人		

令和 6 年 9 月 27 日

活動報告書

創和クラブ経理責任者
芝本 和己 様

報告者名 遠藤富士雄、北野均、井上直樹
古川祐典、戸田正人、芝本和己、辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 7 月 28 日 ~ 令和 6 年 7 月 31 日 (3 泊 4 日)
場 所	① 台湾 台南市 ② 台湾 高雄市
目 的	台南市議会が開催する「第 10 回日台交流サミット in 台南」に参加し、台湾及び日本の地方議員と友好交流に関する意見交換を行うため。また、同じく覚書を締結している高雄市議会及び市政府を表敬訪問し、相互理解を深め、両市の各分野の交流を進めるための意見交換を行うため。
内 容	

去る 7 月 28 日 (日) ~ 7 月 31 日 (水) の 4 日間の日程で丹羽直子議長をはじめ、日台友好和歌山市議会議員連盟 遠藤富士雄会長、北野均副会長、川端康史副会長、井上直樹幹事長 古川祐典議員、戸田正人議員、奥山昭博議員、山本忠相議員(29 日より合流)、芝本和己議員、新古祐子議員、清末博善議員、山路恭世議員、辻本太一議員の 14 名と産業交流局観光国際部国際交流課 職員 1 名議会事務局秘書広報課 職員 1 名 議会政策課 職員 2 名 総勢 18 名で訪問させていただきました。

加えて、奈良県高取町の新澤議長が都市間交流の進め方について、全国日台友好議員協議会の理事長でもある遠藤会長に相談があり、和歌山市の活動を勉強し、視察へ同行したいとの旨の申し出があつたため、都市間交流・サミット参加へ同行していただきました。

この度の訪問は本市議会と友好交流に関する覚書を締結している台南市議会が開催する「第 10 回日台交流サミット in 台南」に参加し、台湾及び日本の地方議員と友好交流に関する意見交換を行うため。また、同じく覚書を締結している高雄市議会及び市政府を表敬訪問し、相互理解を深め、両市の各分野の交流を進めるための意見交換を行うための訪問であります。

初日、7月28日は、13:10 関西空港発 チャイナエアラインで、台北市は桃園国際空港に15:05に到着いたしました。初日の予定は台南市議会の邱莉莉議長への表敬訪問です。

桃園国際空港から、バスで移動し、台南市まで約5時間の移動です。我々の到着を待っていたいっている邱議長へいち早くお会いするため、夕食は台中市で急いで済ませ、再びバスでの移動です。時間は21時、ようやく、台南市、邱莉莉議長の事務所へ到着いたしました。サミット本番を明日に控え、また夜遅い時間にもかかわらず、邱議長並びに郭貞慧（かくていえ）台日文化友好交流協会 名誉会長、そして事務所スタッフの方々と非常に多くの方に出迎えていただきました。

邱議長からは日台交流サミットに参加のために台南市を訪れたことに対する歓迎のご挨拶をいただき、丹羽議長からは5年ぶりに台南市に訪れることができたことをうれしく思い、今後は相互訪問での人的交流だけでなく、覚書を踏まえて両市の様々な分野での交流を進めて行きたいと現地の言葉でご挨拶され、日台関係の意見交換などを行い、非常に和やかで有意義な交流のひと時となりました。

二日目、7月29日の日程は「第10回日台交流サミット in 台南」への参加です。

場所は台南市内のホテルにて、日本の国会議員、地方議員、民間団体の代表ら433名、台湾の各県・市の議員ら138名、そして台湾に友好的なサークルの20名が参加し、過去最大規模での開催となりました。

来賓紹介の後に頼清德総統からビデオメッセージが寄せられ、日台双方からのゲスト全員を歓迎すると共に、「日台交流サミット」が10年目を迎えたことへのお祝いの言葉を述べられました。

基調講演では、元外務省領事局長であり日本台湾交流協会 前台北事務所代表の沼田幹夫氏が登壇し、「第二の故郷台湾を思うこと」をテーマに、外交官としての視点から日台関係の変遷を分析して述べられました。

続いて、全国日台友好議員協議会報告では遠藤富士雄会長の登壇し、全国日台友好議員協議会の理事長として今年度の事業内容や会員数などを報告いたしました。

続いて、台南市議会の邱議長が、「台湾は日本を、日本は台湾を必要としている」と、経済、教育、文化、技術などの連携促進を盛り込んだ「台南宣言」を読み上げ、これを採択された次第であります。また、サミットの最中に別の会議室を特別に用意していただき、黄偉哲 台南市長と面談いたしました。内容は、サミットの参加と和歌山市と台南市の友好交流に関して謝辞を述べられ、対して丹羽議長は今後、様々な分野での両市の交流が進めていくことを期待するとお応えになられました。さらに黄市長は和歌山市に行ったことがないので、和歌山市に訪問したいと話され、日本さらには和歌山市にご关心を持たれて、終始和やかな雰囲気で意見交換が行われました。

ここで、ご一緒にお話させていただいたのが、台南市政府 城市（都市）外交顧問、現：台湾行政院（内閣）政務顧問の野崎孝男氏であります。野崎氏のお母様は和歌山県のご出身とのことで、幼少期は和歌山の大自然の中を走り回り育ったとのプロフィールがあり、和歌山県と関係のある方がこうして世界で活躍され、また日台の友好に寄与する職にご尽力されていることを、改めて嬉しく思いますとともに、日台関係はもとより和歌山市と台湾の友好関係に更なるお力添えいただけることを期待しております。

さて、続きます、サミット第2部の歓迎交流会では、台湾の小学生が舞う、跳鼓陣という民族舞踊が披露されました。また、台南物産めぐりという企画があり、各ブースで台南市の特産品を紹介するなど、台南市の文化や芸術等をアピールする場も設けられており、参加した議員と台湾関係者との間で、日台友好に向けた積極的なコミュニケーションが図られました。

三日目7月30日は台南市議会企画のサミット内容に組み込まれた企業等への視察へ参りました。

台南駅周辺の沙崙（さろん）エリアにて沙崙（さろん）スマートグリーンエネルギーインスティを視察しました。

台湾では、現在、イノベーション主導型の経済成長モデルを作り、台湾内産業の優位性とニッチ性を効果的に発揮するため、「地域連携（地元産業の発展とそれらの連携）」、「未来連携（今と未来をつなぐ連携）」、「国際連携（グローバルな連携）」の三つの連携が原則の産業発展計画をまとめています。

その計画に基づき、スマートテクノロジーやグリーンエネルギーに取り組むため、中央政府と台南市政府が協力して世界水準のスマートシティを目指しているとのことです。

2016年にこの計画が始動した当時の台南市長が現在の賴清德 総統であり、今年5月の総統就任の際も、総統本人が国賓を前に、この沙崙（さろん）スマートグリーンエネルギーインスティについて言及されているところであります。当日、我々はその一部である、国家科学技術委員会（NSTC）が設立した「サイバーセキュリティ＆スマートテクノロジー研究開発ビル」内の「台湾テックアリーナ（TTA）」を見学させていただきました。こちらは、スタートアップを起業させ、育て上げる拠点であり、ここに入居する一つの企業、スマホ一つで野球のバッティングのフォームや打撃スピード等を分析するアプリの研究をされている企業から説明を受け、実際に体験もさせていただきました。このアプリは全米野球コーチ協会でも採用されているとのことであります。

また隣接する、自動運転試験場ではスマートバスの停車場や、優先信号機、濃霧や大雨など様々なシーンを想定した無人運転の実証実験が進められている、自動車学校のような外見をした研究施設を見学し、ご担当の方から説明をいただきました。

個人的な感想ではありますが、台湾では、政府や市が先導しながら民間企業や大学等の協力を得て研究と実証を進めている構図であり、それがうまく機能し、新たなイノベーションが起こり、それが企業の成長につながり、経済発展に寄与していると感じました。「分野の選択と集中」日本やこの和歌山市においても、変化が非常に激しい現代で、成長の分野を見極め、先駆的に育っていくことこそが世界で生き残っていける・成長することができる方法なのではないだろうかと感じた次第であります。

さて、続く行程は、昨年12月にオープンした台南高鉄駅の「花魁車 地景公園」を見学しました。この公園には「花魁」という日本語が入っておりますが、なぜかといいますと、この公園には、日本の0系新幹線が展示されております。2007年に開業した台湾新幹線こと台湾高鐵であります。高速鉄道の建設が進められていた2004年に海を渡り、影の功労者として活躍したのがこの0系新幹線であります。台湾へ渡ったのち、建築限界測定車に改造され、線路沿いの建物の建築の限界や障害物を探知するたくさんの針が「かんざし」に見えることから別名「おいらん車」と呼ばれ、活躍した歴史があります。日本の国外にある0系は、英國国立鉄道博物館に寄贈された1両と台南の1両の2点だけであり、オープニングセレモニーに出席した黄偉哲台南市長は「台湾唯一の0系の展示場所として台南を選んでいただいた。185万市民を代表して感謝したい。」と述べられたとのことです。

続く、サミット日程の最後は万国通路創意觀光工廠(ばんこくつうろそういかんこうこうじょう)に訪問し、国際的なスーツケース生産企業である万国通路の沿革、スーツケースの製造過程、またSDGsへの取り組みなどをお伺いし、創業社長の謝明振氏からコロナ禍での経営や取組み等についても説明をいただきました。

第10回日台交流サミットin台南の日程は以上で、続いて、午後からはさらに南下し、高雄市へと入り、高雄市議会へ訪問させていただきました。

バスが高雄市議会のロータリーへかかると外にはたくさんの方々が出迎えていただいているのが一目でわかり、和歌山市議会の訪問がこれほどにも歓迎されているのかと大きな驚きと感動を覚えた次第であります。

廖裕成議長をはじめ、曾俊傑副議長、高雄市議会国民が移行促進会会长の林智鴻 議員、同副会長 鄭孟洳議員、同副会長 湯詠瑜 議員、江瑞鴻總召、李雨庭議員、李雅慧議員、黃錦平秘書長、余潮駿副秘書長、姜敏榮主任、さらには多くの職員の方々に出迎えていただきました。

高雄市議会では、まず、今までの両市議会の交流をまとめていただいた映像を鑑賞させていただき、両市議会の交流の歴史や信頼関係を改めて感じました。そののち、康議長、丹羽議長からそれぞれご挨拶があり、

康議長は先週、高雄は台風に見舞われたが、日本からのお見舞いに対し、感動・感激している。日本と台湾は、いつも災害時にお互い声を掛け合い、困ったときの友人は眞の友である。とのお話をいただきました。

その後は、遠藤会長を含めて記念品交換を行い、ご用意いただいた日台友好議員連盟の横断幕に両市議会の議員がサインし、記念撮影を行いました。

その後、康議長の計らいで暑さを癒すために日本発祥であり、台湾で長年親しまれているマーブルソーダで乾杯するセレモニーを行っていただき、さらに議場の見学を行いました。

また、この場には現地報道陣も多数来ており、翌日には我々の訪問及び「和歌山市議会と高雄市議会の友好関係」の内容が複数のメディアで報道されました。

さて、続いては、高雄市議会を後にしまして、またバスで移動、高雄市政府へ表敬訪問させていただきました。

こちらでは陳其邁 高雄市長、康裕成議長、張硯卿処長、吳立森局長、高閔琳局長 にお会いし、お話をさせていただきました。その場で、陳市長から和歌山市と高雄市が友好都市、姉妹都市を結んで両市の関係を深めたいとのお話をいただき、遠藤会長からは以前からも姉妹都市のお話を和歌山市尾花市長に伝えているが、再度、議員一同で尾花市長に伝えるとお話をされました。

また、丹羽議長からは、陳市長が和歌山市に来られたことがないとのことであるため、和歌山市へ陳市長を招待し、両市の交流を進めて行きたいとのご挨拶をさせていただきました。その後、陳市長、丹羽議長、遠藤会長と三者で記念品交換を実施し、両市の交流について意見交換を行いました。

夜は高雄市議会 康議長から改めて高雄市への訪問について高雄市内のホテルにて歓迎会を行っていただき、康裕成議長、曾俊傑副議長、鄭孟洳副会長、湯詠瑜副会長、江瑞鴻總召、李雨庭議員、李雅慧議員、黃錦平秘書長、姜敏榮主任、高閔琳局長、蕭永達副理事長、周玲奴顧問、奥正史所長が出席され両市の交流について積極的な意見交換を行いました。

ここでも、両市の交流動画を鑑賞いたしましたが、驚きなのが、当日訪問させていただいた午後から夕方にかけての撮影がすぐ編集され、歓迎の動画を作成されていたことです。また、当日撮影しました写真についても、台紙付きの記念品としていただきました。高雄市議会の歓迎の方法には本当に驚きで、

写真や動画、さらに編集までとても素早い対応がなされておりました。これは専門家やプロなどに外注や委託されているのか伺ったところ、議会の事務局でチームを組み、撮影隊と編集や印刷作業に分け、データのクラウド共有などを駆使しながら素早い対応を実現されているとのことで、我々和歌山市議会が視察先となった際での歓迎の方法や広報委員会の活動としても大いに学ぶ機会となりました。

最終日、7月31日は高雄市内で台湾の文化でもあるカラスミを製造する工場を視察しました。

担当者からカラスミの歴史、文化、製造工程について、順に説明を受け、地場の特産品をアピールする方法等について視察を行い、全日程を終了し、高雄空港を離陸し、関西空港へ。そして和歌山市へ帰ってまいりました。

私は今回初めて日台友好議員連盟として台湾を訪れ感じたことがあります。それは、和歌山市・台南市・高雄市の市議会同士の繋がり、そして信頼関係です。我々の訪問でここまで喜んでいただけるのかと驚きの連続がありました。しかし、どれも、一朝一夕にはここまで繋がりを作ることはできないと感じ、改めて、遠藤会長をはじめとする日台友好議員連盟の先輩議員の地道な活動があってからこそであると感じました。

以上を台湾訪問の報告とし、この経験を活かし、今回の訪問を踏まえた内容を令和6年9月定例会にて一般質問させていただきました。

特に、高雄市との友好関係に関して、尾花市長より「覚書」を結ぶとの答弁をいただき、和歌山市と高雄市との前向きで大きな一歩となりました。

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

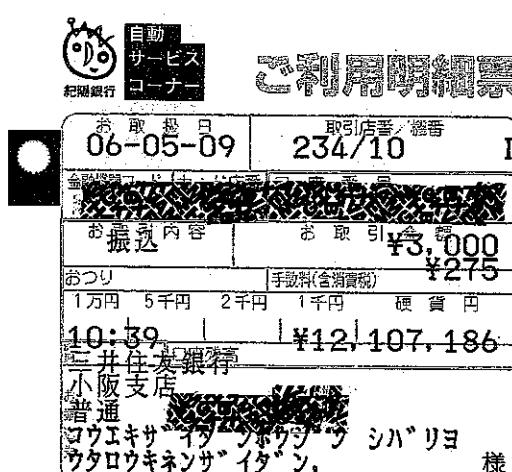
会派名	創和クラブ
整理番号	B1 - 1

項目

- 研究研修費 調査費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

支出年月日	令和 6 年 5 月 9 日
支 出 額	3,275 円 (按分率 %)
支 出 内 容	年会費 (公財) 司馬 遼太郎記念財団 (R6年度分)

備考 3,000 + 275 = 3,275



暗証番号の おさがい も密接に連絡ください。 (暗証番号はATMで簡単に変更いただけます)
クリエイティブ 様
1

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	B3 - /

項目

- 研究研修費 調査費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

支出年月日	令和 6 年 8 月 6 日		
支出額	197,945 円 (按分率 %)		
支出内容	旅費(台湾 7/28 ~ 7/31) ・台湾サミット参加		

備考 ※ 旅費請求内訳表別途添付。

旅費請求内訳表

旅行先		用務						旅行期間		日数	
台南市、高雄市(特別職)		日台交流サミットin台南及び高雄市議会・市政府表敬訪問等						自7月28日 至7月31日		3泊4日	
月日	旅行経路	路 程 km	鉄道賃			船 航 空 賃 賃	車 賃 實費又 は定額	日当	宿泊料	摘要	
			運賃	特 別 車 両 料 金	急行料						
7/28	和歌山市 - 台南市 高雄市									バス移動の ため、旅費及 び日当の調整 宿泊施設指 定のため宿 泊料の調整 丙地方	
							106,000	9,595 33,700	2,850	35,850	人事課計算 (24-0071)
7/31	高雄市 - 和歌山市									合計	
										¥197,945 円	
計			-	-	-	106,000	43,295	2,850	35,850		

航空機利用区間

関西国際空港→台湾桃園国際空港

高雄国際空港→関西国際空港

日当 市長級

2,850円×1(昼食)

宿泊料 市長級

5,000円×1(夕食・パック旅行分)

16,300円×1(宿泊朝食付き、パック旅行)

7,275円×2(宿泊朝食付き)

請求書

下記のとおり請求します。

令和6年 7月 日

創和クラブ 代表者 中村 元彦 様

所 属	等級	運 賃	日 当	そ の 他	旅 費	支 給 額	氏 名	請 求 印	領 収 印
位			宿 泊 料	料 金	定 額 表				
	市長級	149,295	2,850	9,950		197,945	北野 均		
議 員			35,850						
計		149,295 円	38,700 円	9,950 円	- 円	197,945 円	1 人		

御請求書

日付：2024年7月25日

日台友好 和歌山市議会議員連盟 様

旅行先：台湾（台南市～高雄市）3泊4日

旅行期日：2024年7/28(日)～7/31(水)

算出人員：17名

阪和ワールドソーリスト株式会社

〒640-8157

和歌山県和歌山市八番丁18番地

TEL: 073-424-0166 FAX: 073-424-0138

担当：

Mobile:

Email:

登録番号：T4-1700-0100-2743

* * * * * お振込先 * * * * *

紀陽銀行本店営業部 普通口座 No.

阪和ワールドソーリスト㈱

振込手数料はお客様ご負担でお願い申し上げます。

ご請求金額：¥3,244,495

種別	品名	税率	数量	単価	金額	消費税区分
AIR	往復航空運賃(チャイナエアライン航空利用)		17	86,000	1,462,000	-
〃	7/28(日) CI157 関西(13:10) → 台北(桃園)(15:05)					
〃	7/31(水) CI176 高雄(15:35) → 関西(19:35)					
〃	※往復共モニタークラス(料金変動制/先券手数料含む)					
7/28 現地バス	大型バス(現地スタッフ付・トイレ無)1台		1	350,540	350,540	-
7/29 現地バス	大型バス(現地スタッフ付・トイレ無)1台		1	83,385	83,385	-
7/30 現地バス	大型バス(現地スタッフ付・トイレ無)1台		1	83,385	83,385	-
7/31(水)	大型バス(現地スタッフ付・トイレ無)1台		1	55,590	55,590	-
7/28 宿泊費	台南市：日升大飯店(お客様が手配)					
7/29 宿泊費	台南市：日升大飯店(お客様が手配)					
7/30 宿泊費	高雄市：ハウトイナラザ(禁煙シングル利用/1泊朝食付)		17	16,300	277,100	-
7/28 夕食	台中市内		17	5,000	85,000	-
航空送迎バス	大型バス(ガソ無・トイレ無/往復送迎/回送料含む)1台		1	145,615	145,615	10%
〃	通行料・駐車料(概算)		1	17,500	17,500	10%
〃	※往路 山本議員1名分を除く					
その他	海外旅行傷害保険(ご契約タイプ903)		15	7,970	119,550	-
〃	海外旅行傷害保険(ご契約タイプ907)		2	9,140	18,280	-
〃	日本→台湾出入国書類作成		17	2,200	37,400	10%
〃	燃油サーチャージ等(2024年7月10日時点)		17	20,000	340,000	-
〃	その他 諸税(国際観光税・現地空港税等)		17	6,850	116,450	-
〃	※各諸税は、為替レート(2024年7月10日時点)により変動します。					
〃	関西空港施設使用料		17	3,100	52,700	10%
旅行代金合計(消費税込)						¥3,244,495

対象額(税抜)	消費税額		
消費税10%対象	230,196	消費税10%	23,019
消費税8%対象		消費税8%	
消費税0%対象	2,991,280	非課税	
小計 ①	3,221,476	小計 ②	23,019

品名欄の「*」は軽減税率対象であることを示します

①+②= ¥3,244,495

令和 6 年 9 月 27 日

活動報告書

創和クラブ経理責任者
芝本 和己 様

報告者名 遠藤富士雄、北野均、井上直樹
古川祐典、戸田正人、芝本和己、辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 7 月 28 日 ~ 令和 6 年 7 月 31 日 (3泊 4日)
場 所	① 台湾 台南市
② 台湾 高雄市	
目 的	台南市議会が開催する「第10回日台交流サミット in 台南」に参加し、台湾及び日本の地方議員と友好交流に関する意見交換を行うため。また、同じく覚書を締結している高雄市議会及び市政府を表敬訪問し、相互理解を深め、両市の各分野の交流を進めるための意見交換を行うため。
内 容	

去る7月28日(日)~7月31日(水)の4日間の日程で丹羽直子議長をはじめ、日台友好和歌山市議会議員連盟 遠藤富士雄会長、北野均副会長、川端康史副会長、井上直樹幹事長 古川祐典議員、戸田正人議員、奥山昭博議員、山本忠相議員(29日より合流)、芝本和己議員、新古祐子議員、清末博善議員、山路恭世議員、辻本太一議員の14名と産業交流局観光国際部国際交流課 職員1名議会事務局秘書広報課 職員1名 議会政策課 職員2名 総勢18名で訪問させていただきました。

加えて、奈良県高取町の新澤議長が都市間交流の進め方について、全国日台友好議員協議会の理事長でもある遠藤会長に相談があり、和歌山市の活動を勉強し、視察へ同行したいとの旨の申し出があつたため、都市間交流・サミット参加へ同行していただきました。

この度の訪問は本市議会と友好交流に関する覚書を締結している台南市議会が開催する「第10回日台交流サミット in 台南」に参加し、台湾及び日本の地方議員と友好交流に関する意見交換を行うため。また、同じく覚書を締結している高雄市議会及び市政府を表敬訪問し、相互理解を深め、両市の各分野の交流を進めるための意見交換を行うための訪問であります。

初日、7月28日は、13:10関西空港発 チャイナエアラインで、台北市は桃園国際空港に15:05に到着いたしました。初日の予定は台南市議会の邱莉莉議長への表敬訪問です。

桃園国際空港から、バスで移動し、台南市まで約5時間の移動です。我々の到着を待っていただいている邱議長へいち早くお会いするため、夕食は台中市で急いで済ませ、再びバスでの移動です。時間は21時、ようやく、台南市、邱莉莉議長の事務所へ到着いたしました。サミット本番を明日に控え、また夜遅い時間にもかかわらず、邱議長並びに郭貞慧（かくていいえ）台日文化友好交流協会 名誉会長、そして事務所スタッフの方々と非常に多くの方に出迎えていただきました。

邱議長からは日台交流サミットに参加のために台南市を訪れたことに対する歓迎のご挨拶をいただき、丹羽議長からは5年ぶりに台南市に訪れることができたことをうれしく思い、今後は相互訪問での人的交流だけでなく、覚書を踏まえて両市の様々な分野での交流を進めて行きたいと現地の言葉でご挨拶され、日台関係の意見交換などを行い、非常に和やかで有意義な交流のひと時となりました。

二日目、7月29日の日程は「第10回日台交流サミット in 台南」への参加です。

場所は台南市内のホテルにて、日本の国会議員、地方議員、民間団体の代表ら433名、台湾の各県・市の議員ら138名、そして台湾に友好的なサークルの20名が参加し、過去最大規模での開催となりました。

来賓紹介の後に頼清徳総統からビデオメッセージが寄せられ、日台双方からのゲスト全員を歓迎すると共に、「日台交流サミット」が10年目を迎えたことへのお祝いの言葉を述べされました。

基調講演では、元外務省領事局長であり日本台湾交流協会 前台北事務所代表の沼田幹夫氏が登壇し、「第二の故郷台湾を思うこと」をテーマに、外交官としての視点から日台関係の変遷を分析して述べられました。

続いて、全国日台友好議員協議会報告では遠藤富士雄会長の登壇し、全国日台友好議員協議会の理事長として今年度の事業内容や会員数などを報告いたしました。

続いて、台南市議会の邱議長が、「台湾は日本を、日本は台湾を必要としている」と、経済、教育、文化、技術などの連携促進を盛り込んだ「台南宣言」を読み上げ、これを採択された次第であります。また、サミットの最中に別の会議室を特別に用意していただき、黃偉哲 台南市長と面談いたしました。内容は、サミットの参加と和歌山市と台南市の友好交流に関して謝辞を述べられ、対して丹羽議長は今後、様々な分野での両市の交流が進めていくことを期待するとお応えになられました。さらに黃市長は和歌山市に行ったことがないので、和歌山市に訪問したいと話され、日本さらには和歌山市にご関心を持たれて、終始和やかな雰囲気で意見交換が行われました。

ここで、ご一緒にお話をさせていただいたのが、台南市政府 城市（都市）外交顧問、現：台湾行政院（内閣）政務顧問の野崎孝男氏であります。野崎氏のお母様は和歌山県のご出身とのことで、幼少期は和歌山の大自然の中を走り回り育ったとのプロフィールがあり、和歌山県と関係のある方がこうして世界で活躍され、また日台の友好に寄与する職にご尽力されていることを、改めて嬉しく思いますとともに、日台関係はもとより和歌山市と台湾の友好関係に更なるお力添えいただけることを期待しております。

さて、続きます、サミット第2部の歓迎交流会では、台湾の小学生が舞う、跳鼓陣という民族舞踊が披露されました。また、台南物産めぐりという企画があり、各ブースで台南市の特産品を紹介するなど、台南市の文化や芸術等をアピールする場も設けられており、参加した議員と台湾関係者との間で、日台友好に向けた積極的なコミュニケーションが図られました。

三日目7月30日は台南市議会企画のサミット内容に組み込まれた企業等への視察へ参りました。
台南駅周辺の沙崙（さろん）エリアにて沙崙（さろん）スマートグリーンエネルギーインスティを視察しました。

台湾では、現在、イノベーション主導型の経済成長モデルを作り、台湾内産業の優位性とニッチ性を効果的に発揮するため、「地域連携（地元産業の発展とそれらの連携）」、「未来連携（今と未来をつなぐ連携）」、「国際連携（グローバルな連携）」の三つの連携が原則の産業発展計画をまとめています。

その計画に基づき、スマートテクノロジーやグリーンエネルギーに取り組むため、中央政府と台南市政府が協力して世界水準のスマートシティを目指しているとのことです。

2016年にこの計画が始動した当時の台南市長が現在の頼清徳 総統であり、今年5月の総統就任の際も、総統本人が国賓を前に、この沙崙（さろん）スマートグリーンエネルギーインスティについて言及されているところであります。当日、我々はその一部である、国家科学技術委員会（NSTC）が設立した「サイバーセキュリティ＆スマートテクノロジー研究開発ビル」内の「台湾テックアリーナ（TTA）」を見学させていただきました。こちらは、スタートアップを起業させ、育て上げる拠点であり、ここに入居する一つの企業、スマホ一つで野球のバッティングのフォームや打撃スピード等を分析するアプリの研究をされている企業から説明を受け、実際に体験もさせていただきました。このアプリは全米野球コーチ協会でも採用されているとのことであります。

また隣接する、自動運転試験場ではスマートバスの停車場や、優先信号機、濃霧や大雨など様々なシーンを想定した無人運転の実証実験が進められている、自動車学校のような外見をした研究施設を見学し、ご担当の方から説明をいただきました。

個人的な感想ではありますが、台湾では、政府や市が先導しながら民間企業や大学等の協力を得て研究と実証を進めている構図であり、それがうまく機能し、新たなイノベーションが起こり、それが企業の成長につながり、経済発展に寄与していると感じました。「分野の選択と集中」日本やこの和歌山市においても、変化が非常に激しい現代で、成長の分野を見極め、先駆的に育てていくことこそが世界で生き残っていける・成長することができる方法なのではないだろうかと感じた次第であります。

さて、続く行程は、昨年12月にオープンした台南高鉄駅の「花魁車 地景公園」を見学しました。この公園には「花魁」という日本語が入っておりますが、なぜかといいますと、この公園には、日本の0系新幹線が展示されております。2007年に開業した台湾新幹線こと台湾高鐵であります。高速鉄道の建設が進められていた2004年に海を渡り、影の功労者として活躍したのがこの0系新幹線であります。台湾へ渡ったのち、建築限界測定車に改造され、線路沿いの建物の建築の限界や障害物を探知するたくさんの針が「かんざし」に見えることから別名「おいらん車」と呼ばれ、活躍した歴史があります。日本の国外にある0系は、英國国立鉄道博物館に寄贈された1両と台南の1両の2点だけであり、オープニングセレモニーに出席した黄偉哲台南市長は「台湾唯一の0系の展示場所として台南を選んでいただいた。185万市民を代表して感謝したい。」と述べられたとのことであります。

続く、サミット日程の最後は万国通路創意觀光工廠(ばんこくつうろそういかんこうこうじょう)に訪問し、国際的なスーツケース生産企業である万国通路の沿革、スーツケースの製造過程、またSDGsへの取り組みなどをお伺いし、創業社長の謝明振氏からコロナ禍での経営や取組み等についても説明をいただきました。

第10回日台交流サミット in 台南の日程は以上で、続いて、午後からはさらに南下し、高雄市へと入り、高雄市議会へ訪問させていただきました。

バスが高雄市議会のロータリーへかかると外にはたくさんの方々が出迎えていただいているのが一目でわかり、和歌山市議会の訪問がこれほどにも歓迎されているのかと大きな驚きと感動を覚えた次第であります。

康裕成議長をはじめ、曾俊傑副議長、高雄市議会国民が移行促進会会长の林智鴻 議員、同副会長 鄭孟洳議員、同副会長 湯詠瑜 議員、江瑞鴻總召、李雨庭議員、李雅慧議員、黃錦平秘書長、余潮駿副秘書長、姜敏榮主任、さらには多くの職員の方々に出迎えていただきました。

高雄市議会では、まず、今までの両市議会の交流をまとめていただいた映像を鑑賞させていただき、両市議会の交流の歴史や信頼関係を改めて感じました。その後、康議長、丹羽議長からそれぞれご挨拶があり、

康議長は先週、高雄は台風に見舞われたが、日本からのお見舞いに対し、感動・感激している。日本と台湾は、いつも災害時にお互い声を掛け合い、困ったときの友人は眞の友である。とのお話をいただきました。

その後は、遠藤会長を含めて記念品交換を行い、ご用意いただいた日台友好議員連盟の横断幕に両市議会の議員がサインし、記念撮影を行いました。

その後、康議長の計らいで暑さを癒すために日本発祥であり、台湾で長年親しまれているマーブルソーダで乾杯するセレモニーを行っていただき、さらに議場の見学を行いました。

また、この場には現地報道陣も多数来ており、翌日には我々の訪問及び「和歌山市議会と高雄市議会の友好関係」の内容が複数のメディアで報道されました。

さて、続いては、高雄市議会を後にしまして、またバスで移動、高雄市政府へ表敬訪問させていただきました。

こちらでは陳其邁 高雄市長、康裕成議長、張硯卿處長、吳立森局長、高閔琳局長 にお会いし、お話をさせていただきました。その場で、陳市長から和歌山市と高雄市が友好都市、姉妹都市を結んで両市の関係を深めたいとのお話をいただき、遠藤会長からは以前からも姉妹都市のお話を和歌山市尾花市長に伝えているが、再度、議員一同で尾花市長に伝えるとお話されました。

また、丹羽議長からは、陳市長が和歌山市に来られたことがないとのことであるため、和歌山市へ陳市長を招待し、両市の交流を進めて行きたいとのご挨拶をさせていただきました。その後、陳市長、丹羽議長、遠藤会長と三者で記念品交換を実施し、両市の交流について意見交換を行いました。

夜は高雄市議会 康議長から改めて高雄市への訪問について高雄市内のホテルにて歓迎会を行っていただき、康裕成議長、曾俊傑副議長、鄭孟洳副会長、湯詠瑜副会長、江瑞鴻總召、李雨庭議員、李雅慧議員、黃錦平秘書長、姜敏榮主任、高閔琳局長、蕭永達副理事長、周玲奴顧問、奥正史所長が出席され両市の交流について積極的な意見交換を行いました。

ここでも、両市の交流動画を鑑賞いたしましたが、驚きなのが、当日訪問させていただいた午後から夕方にかけての撮影がすぐ編集され、歓迎の動画を作成されていたことです。また、当日撮影しました写真についても、台紙付きの記念品としていただきました。高雄市議会の歓迎の方法には本当に驚きで、

写真や動画、さらに編集までとても素早い対応がなされておりました。これは専門家やプロなどに外注や委託されているのか伺ったところ、議会の事務局でチームを組み、撮影隊と編集や印刷作業に分け、データのクラウド共有などを駆使しながら素早い対応を実現されているとのことで、我々和歌山市議会が視察先となった際での歓迎の方法や広報委員会の活動としても大いに学ぶ機会となりました。

最終日、7月31日は高雄市内で台湾の文化でもあるカラスミを製造する工場を視察しました。

担当者からカラスミの歴史、文化、製造工程について、順に説明を受け、地場の特産品をアピールする方法等について視察を行い、全日程を終了し、高雄空港を離陸し、関西空港へ。そして和歌山市へ帰ってまいりました。

私は今回初めて日台友好議員連盟として台湾を訪れ感じたことがあります。それは、和歌山市・台南市・高雄市の市議会同士の繋がり、そして信頼関係です。我々の訪問でここまで喜んでいただけるのかと驚きの連続がありました。しかし、どれも、一朝一夕にはここまで繋がりを作ることはできないと感じ、改めて、遠藤会長をはじめとする日台友好議員連盟の先輩議員の地道な活動があつてからこそあると感じました。

以上を台湾訪問の報告とし、この経験を活かし、今回の訪問を踏まえた内容を令和6年9月定例会にて一般質問させていただきました。

特に、高雄市との友好関係に関して、尾花市長より「覚書」を結ぶとの答弁をいただき、和歌山市と高雄市との前向きで大きな一歩となりました。

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	D 2 - 1

項目

- 研究研修費 調査費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

支出年月日

令和 6 年 4 月 24 日

支出額

25,660 円 (按分率 %)

支出内容

年会費
 福島県木-4八八八一-協会 R6年度
 福島県防衛協会 R6年度
 家族の会 R6年度

備考 $5,000 + 275 + 15,000 + 110 + 5,000 + 275 = 25,660$



お取扱日	取引店番
06-04-24	234/10 I
お振込内容	
お振込	お取引合計額
手数料(含消費税)	¥5,000
振込	¥275
おつり	手数料(含消費税)
1万円 5千円 2千円 1千円	1千円
14:16	¥12,760,032
ゆうちょ銀行	
○九九	
当座	
シヤウカヤマツヨーホークハガキ-キヨウカ	様

暗証番号の生年月日や電話番号など他人が知り得る番号を暗証番号に使用されている
 おねがい お客様は、遠やかにご変更ください。
 <暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

フルカワ マサフリ 様

1

B 1996



お取扱日	取引店番
06-04-24	234/10 I
お振込内容	
お振込	お取引合計額
手数料(含消費税)	¥15,000
振込	¥110
おつり	手数料(含消費税)
1万円 5千円 2千円 1千円	1千円
14:18	¥12,744,922
紀陽銀行	
湊支店	
普通	
ワカヤマケンホウエイキヨウカイ 様	

暗証番号の生年月日や電話番号など他人が知り得る番号を暗証番号に使用されている
 おねがい お客様は、遠やかにご変更ください。
 <暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

フルカワ マサフリ 様

2

B 1996

領収書等貼付欄



自動
サービス
カウンター

ご利用明細書

お取扱日 06-04-24	取引店番/機種 234/10 I
[Redacted]	
お振込内容 振込	お取引金額 ¥5,000 ¥275
おつり 1万円 5千円 2千円 1千円	手数料(合算額) 硬貨 円
14:34	¥12,744,647
ゆうちょ銀行	
一〇九	
当座	
42953フルカリ マサブリ 様	

暗証番号の
おねがい 生年月日や電話番号など他人が知り
得る番号を暗証番号に使用されている
お客様は、速やかにご変更ください。
<暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

42953フルカリ マサブリ 様

B 1996

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	D4 - 1

項目

- 研究研修費 調査費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

支出年月日	令和 6 年 8 月 6 日		
支出額	197,945 円 (按分率 %)		
支出内容	旅費(台湾 7/28 ~ 7/31) ・台湾サミット参加		

備考 ※ 旅費請求内訳表別途添付。

D4-1

旅費請求内訳表

旅行先		用務						旅行期間		日数	
台南市、高雄市(特別職)		日台交流サミットin台南及び高雄市議会・市政府表敬訪問等						自7月28日至7月31日		3泊4日	
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄道賃			船 賃 航空賃	車 賃 実費又 は定額	日 当	宿泊料	摘要	
			運 賃	特 別 車 両 料	車 金						
7/28	和歌山市 - 台南市 高雄市									バス移動の ため、旅費及 び日当の調整 宿泊施設指 定のため宿 泊料の調整 丙地方 人事課計算 (24-0071)	
							106,000	9,595 33,700	2,850	35,850	
7/31	高雄市 - 和歌山市										
計			-	-	-		106,000	43,295	2,850	35,850	
円 ￥197,945											

航空機利用区間

関西国際空港→台湾桃園国際空港

高雄国際空港→関西国際空港

日当 市長級

2,850円×1(昼食)

宿泊料 市長級

5,000円×1(夕食・パック旅行分)

16,300円×1(宿泊朝食付き、パック旅行)

7,275円×2(宿泊朝食付き)

請求書

下記のとおり請求します。

令和6年 7月 日

創和クラブ 代表者 中村 元彦 様

所 属	等級	運 賃	日 当	そ の 他	旅 費	支 給 額	氏 名	請求印	領收印
位			宿 泊 料	料 金	定 額 表				
	議 員	市長級	149,295	2,850 35,850	9,950		197,945	古川 祐典	
計		149,295 円	38,700 円	9,950 円	- 円	197,945 円	1 人		

令和 6 年 9 月 27 日

活動報告書

創和クラブ経理責任者
芝本 和己 様

報告者名 遠藤富士雄、北野均、井上直樹
古川祐典、戸田正人、芝本和己、辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 7 月 28 日 ~ 令和 6 年 7 月 31 日 (3 泊 4 日)
場 所	① 台湾 台南市 ② 台湾 高雄市
目的	台南市議会が開催する「第 10 回日台交流サミット in 台南」に参加し、台湾及び日本の地方議員と友好交流に関する意見交換を行うため。また、同じく覚書を締結している高雄市議会及び市政府を表敬訪問し、相互理解を深め、両市の各分野の交流を進めるための意見交換を行うため。
内 容	

去る 7 月 28 日 (日) ~ 7 月 31 日 (水) の 4 日間の日程で丹羽直子議長をはじめ、日台友好和歌山市議会議員連盟 遠藤富士雄会長、北野均副会長、川端康史副会長、井上直樹幹事長 古川祐典議員、戸田正人議員、奥山昭博議員、山本忠相議員(29 日より合流)、芝本和己議員、新古祐子議員、清末博善議員、山路恭世議員、辻本太一議員の 14 名と産業交流局観光国際部国際交流課 職員 1 名議会事務局秘書広報課 職員 1 名 議会政策課 職員 2 名 総勢 18 名で訪問させていただきました。

加えて、奈良県高取町の新澤議長が都市間交流の進め方について、全国日台友好議員協議会の理事長でもある遠藤会長に相談があり、和歌山市の活動を勉強し、視察へ同行したいとの旨の申し出があつたため、都市間交流・サミット参加へ同行していただきました。

この度の訪問は本市議会と友好交流に関する覚書を締結している台南市議会が開催する「第 10 回日台交流サミット in 台南」に参加し、台湾及び日本の地方議員と友好交流に関する意見交換を行うため。また、同じく覚書を締結している高雄市議会及び市政府を表敬訪問し、相互理解を深め、両市の各分野の交流を進めるための意見交換を行うための訪問であります。

初日、7月28日は、13:10関西空港発 チャイナエアラインで、台北市は桃園国際空港に15:05に到着いたしました。初日の予定は台南市議会の邱莉莉議長への表敬訪問です。

桃園国際空港から、バスで移動し、台南市まで約5時間の移動です。我々の到着を待っていただいている邱議長へいち早くお会いするため、夕食は台中市で急いで済ませ、再びバスでの移動です。時間は21時、ようやく、台南市、邱莉莉議長の事務所へ到着いたしました。サミット本番を明日に控え、また夜遅い時間にもかかわらず、邱議長並びに郭貞慧（かくていえ）台日文化友好交流協会 名誉会長、そして事務所スタッフの方々と非常に多くの方に出迎えていただきました。

邱議長からは日台交流サミットに参加のために台南市を訪れたことに対する歓迎のご挨拶をいただき、丹羽議長からは5年ぶりに台南市に訪れることができたことをうれしく思い、今後は相互訪問での人的交流だけでなく、覚書を踏まえて両市の様々な分野での交流を進めて行きたいと現地の言葉でご挨拶され、日台関係の意見交換などを行い、非常に和やかで有意義な交流のひと時となりました。

二日目、7月29日の日程は「第10回日台交流サミット in 台南」への参加です。

場所は台南市内のホテルにて、日本の国会議員、地方議員、民間団体の代表ら433名、台湾の各県・市の議員ら138名、そして台湾に友好的なサークルの20名が参加し、過去最大規模での開催となりました。

来賓紹介の後に頼清徳総統からビデオメッセージが寄せられ、日台双方からのゲスト全員を歓迎すると共に、「日台交流サミット」が10年目を迎えたことへのお祝いの言葉を述べされました。

基調講演では、元外務省領事局長であり日本台湾交流協会 前台北事務所代表の沼田幹夫氏が登壇し、「第二の故郷台湾を思うこと」をテーマに、外交官としての視点から日台関係の変遷を分析して述べられました。

続いて、全国日台友好議員協議会報告では遠藤富士雄会長の登壇し、全国日台友好議員協議会の理事長として今年度の事業内容や会員数などを報告いたしました。

続いて、台南市議会の邱議長が、「台湾は日本を、日本は台湾を必要としている」と、経済、教育、文化、技術などの連携促進を盛り込んだ「台南宣言」を読み上げ、これを採択された次第であります。また、サミットの最中に別の会議室を特別に用意していただき、黄偉哲 台南市長と面談いたしました。内容は、サミットの参加と和歌山市と台南市の友好交流に関して謝辞を述べられ、対して丹羽議長は今後、様々な分野での両市の交流が進めていくことを期待するとお応えになられました。さらに黄市長は和歌山市に行ったことがないので、和歌山市に訪問したいと話され、日本さらには和歌山市にご関心を持たれて、終始和やかな雰囲気で意見交換が行われました。

ここで、ご一緒にお話をさせていただいたのが、台南市政府 城市（都市）外交顧問、現：台湾行政院（内閣）政務顧問の野崎孝男氏であります。野崎氏のお母様は和歌山県のご出身とのことで、幼少期は和歌山の大自然の中を走り回り育ったとのプロフィールがあり、和歌山県と関係のある方がこうして世界で活躍され、また日台の友好に寄与する職にご尽力されていることを、改めて嬉しく思いますとともに、日台関係はもとより和歌山市と台湾の友好関係に更なるお力添えいただけることを期待しております。

さて、続きます、サミット第2部の歓迎交流会では、台湾の小学生が舞う、跳鼓陣という民族舞踊が披露されました。また、台南物産めぐりという企画があり、各ブースで台南市の特産品を紹介するなど、台南市の文化や芸術等をアピールする場も設けられており、参加した議員と台湾関係者との間で、日台友好に向けた積極的なコミュニケーションが図られました。

三日目7月30日は台南市議会企画のサミット内容に組み込まれた企業等への視察へ参りました。

台南駅周辺の沙崙（さろん）エリアにて沙崙（さろん）スマートグリーンエネルギーインスティを視察しました。

台湾では、現在、イノベーション主導型の経済成長モデルを作り、台湾内産業の優位性とニッチ性を効果的に発揮するため、「地域連携（地元産業の発展とそれらの連携）」、「未来連携（今と未来をつなぐ連携）」、「国際連携（グローバルな連携）」の三つの連携が原則の産業発展計画をまとめています。

その計画に基づき、スマートテクノロジーやグリーンエネルギーに取り組むため、中央政府と台南市政府が協力して世界水準のスマートシティを目指しているとのことです。

2016年にこの計画が始動した当時の台南市長が現在の賴清德 総統であり、今年5月の総統就任の際も、総統本人が国賓を前に、この沙崙（さろん）スマートグリーンエネルギーインスティについて言及されているところであります。当日、我々はその一部である、国家科学技術委員会（NSTC）が設立した「サイバーセキュリティ＆スマートテクノロジー研究開発ビル」内の「台湾テックアリーナ（TTA）」を見学させていただきました。こちらは、スタートアップを起業させ、育て上げる拠点であり、ここに入居する一つの企業、スマホ一つで野球のバッティングのフォームや打撃スピード等を分析するアプリの研究をされている企業から説明を受け、実際に体験もさせていただきました。このアプリは全米野球コーチ協会でも採用されているとのことです。

また隣接する、自動運転試験場ではスマートバスの停車場や、優先信号機、濃霧や大雨など様々なシーンを想定した無人運転の実証実験が進められている、自動車学校のような外見をした研究施設を見学し、ご担当の方から説明をいただきました。

個人的な感想ではありますが、台湾では、政府や市が先導しながら民間企業や大学等の協力を得て研究と実証を進めている構図であり、それがうまく機能し、新たなイノベーションが起こり、それが企業の成長につながり、経済発展に寄与していると感じました。「分野の選択と集中」日本やこの和歌山市においても、変化が非常に激しい現代で、成長の分野を見極め、先駆的に育てていくことこそが世界で生き残っていける・成長することができる方法なのではないだろうかと感じた次第であります。

さて、続く行程は、昨年12月にオープンした台南高鉄駅の「花魁車 地景公園」を見学しました。この公園には「花魁」という日本語が入っておりますが、なぜかといいますと、この公園には、日本の0系新幹線が展示されております。2007年に開業した台湾新幹線こと台湾高鐵であります。高速鉄道の建設が進められていた2004年に海を渡り、影の功労者として活躍したのがこの0系新幹線であります。台湾へ渡ったのち、建築限界測定車に改造され、線路沿いの建物の建築の限界や障害物を探知するたくさんの針が「かんざし」に見えることから別名「おいらん車」と呼ばれ、活躍した歴史があります。日本の国外にある0系は、英國国立鉄道博物館に寄贈された1両と台南の1両の2点だけであり、オープニングセレモニーに出席した黄偉哲台南市長は「台湾唯一の0系の展示場所として台南を選んでいただいた。185万市民を代表して感謝したい。」と述べられたとのことであります。

続く、サミット日程の最後は万国通路創意觀光工廠(ばんこくつうろそういかんこうこうじょう)に訪問し、国際的なスーツケース生産企業である万国通路の沿革、スーツケースの製造過程、またSDGsへの取り組みなどをお伺いし、創業社長の謝明振氏からコロナ禍での経営や取組み等についても説明をいただきました。

第10回日台交流サミットin台南の日程は以上で、続いて、午後からはさらに南下し、高雄市へと入り、高雄市議会へ訪問させていただきました。

バスが高雄市議会のロータリーへかかると外にはたくさんの方々が出迎えていただいているのが一目でわかり、和歌山市議会の訪問がこれほどにも歓迎されているのかと大きな驚きと感動を覚えた次第であります。

康裕成議長をはじめ、曾俊傑副議長、高雄市議会国民が移行促進会会长の林智鴻 議員、同副会長 鄭孟洳議員、同副会長 湯詠瑜 議員、江瑞鴻總召、李雨庭議員、李雅慧議員、黃錦平秘書長、余潮駿副秘書長、姜敏榮主任、さらには多くの職員の方々に出迎えていただきました。

高雄市議会では、まず、今までの両市議会の交流をまとめていただいた映像を鑑賞させていただき、両市議会の交流の歴史や信頼関係を改めて感じました。その後、康議長、丹羽議長からそれぞれご挨拶があり、

康議長は先週、高雄は台風に見舞われたが、日本からのお見舞いに対し、感動・感激している。日本と台湾は、いつも災害時にお互い声を掛け合い、困ったときの友人は眞の友である。とのお話をいただきました。

その後は、遠藤会長を含めて記念品交換を行い、ご用意いただいた日台友好議員連盟の横断幕に両市議会の議員がサインし、記念撮影を行いました。

その後、康議長の計らいで暑さを癒すために日本発祥であり、台湾で長年親しまれているマーブルソーダで乾杯するセレモニーを行っていただき、さらに議場の見学を行いました。

また、この場には現地報道陣も多数来ており、翌日には我々の訪問及び「和歌山市議会と高雄市議会の友好関係」の内容が複数のメディアで報道されました。

さて、続いては、高雄市議会を後にしまして、またバスで移動、高雄市政府へ表敬訪問させていただきました。

こちらでは陳其邁 高雄市長、康裕成議長、張硯卿処長、吳立森局長、高閔琳局長 にお会いし、お話をさせていただきました。その場で、陳市長から和歌山市と高雄市が友好都市、姉妹都市を結んで両市の関係を深めたいとのお話をいただき、遠藤会長からは以前からも姉妹都市のお話を和歌山市尾花市長に伝えているが、再度、議員一同で尾花市長に伝えるとお話をされました。

また、丹羽議長からは、陳市長が和歌山市に来られたことがないとのことであるため、和歌山市へ陳市長を招待し、両市の交流を進めて行きたいとのご挨拶をさせていただきました。その後、陳市長、丹羽議長、遠藤会長と三者で記念品交換を実施し、両市の交流について意見交換を行いました。

夜は高雄市議会 康議長から改めて高雄市への訪問について高雄市内のホテルにて歓迎会を行っていただき、康裕成議長、曾俊傑副議長、鄭孟洳副会長、湯詠瑜副会長、江瑞鴻總召、李雨庭議員、李雅慧議員、黃錦平秘書長、姜敏榮主任、高閔琳局長、蕭永達副理事長、周玲姪顧問、奥正史所長が出席され両市の交流について積極的な意見交換を行いました。

ここでも、両市の交流動画を鑑賞いたしましたが、驚きなのが、当日訪問させていただいた午後から夕方にかけての撮影がすぐ編集され、歓迎の動画を作成されていたことです。また、当日撮影しました写真についても、台紙付きの記念品としていただきました。高雄市議会の歓迎の方法には本当に驚きで、

写真や動画、さらに編集までとても素早い対応がなされておりました。これは専門家やプロなどに外注や委託されているのか伺ったところ、議会の事務局でチームを組み、撮影隊と編集や印刷作業に分け、データのクラウド共有などを駆使しながら素早い対応を実現されているとのことで、我々和歌山市議会が視察先となった際での歓迎の方法や広報委員会の活動としても大いに学ぶ機会となりました。

最終日、7月31日は高雄市内で台湾の文化でもあるカラスミを製造する工場を視察しました。

担当者からカラスミの歴史、文化、製造工程について、順に説明を受け、地場の特産品をアピールする方法等について視察を行い、全日程を終了し、高雄空港を離陸し、関西空港へ。そして和歌山市へ帰ってまいりました。

私は今回初めて日台友好議員連盟として台湾を訪れ感じたことがあります。それは、和歌山市・台南市・高雄市の市議会同士の繋がり、そして信頼関係です。我々の訪問でここまで喜んでいただけるのかと驚きの連続がありました。しかし、どれも、一朝一夕にはここまで繋がりを作ることはできないと感じ、改めて、遠藤会長をはじめとする日台友好議員連盟の先輩議員の地道な活動があってからこそであると感じました。

以上を台湾訪問の報告とし、この経験を活かし、今回の訪問を踏まえた内容を令和6年9月定例会にて一般質問させていただきました。

特に、高雄市との友好関係に関して、尾花市長より「覚書」を結ぶとの答弁をいただき、和歌山市と高雄市との前向きで大きな一歩となりました。

政務活動費支出調書兼領收書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	E2 - 1

項目

- 研究研修費 調査費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 會議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

支出年月日	令和 6 年 5 月 14 日
支出額	65,430 円 (按分率 %)
支出内容	旅費 (5/9 ~ 10) 東京

備考：※ 旅費請求内訳表添付。

E 2 - 1

旅費請求内訳表

旅行先 東京都(特別職)		用務 政務活動のため						旅行期間 5月9日 5月10日		日数 1泊 2日
月日	旅行経路	路 程 km	鉄道賃			船 航 空 賃	車 賃 実費又 は定額	日当	宿泊料	摘要
			運賃	特 別 車 両 料	金					
										定額表利用 A1451
計			-	-	-	-	-	-	-	¥ 65,430 円

航空機利用区間 公用車等利用区間

請求書

下記のとおり請求します。

令和6年 月 日

創和クラブ 代表者 中村 元彦 様

属 位	等 級	運 賃	日 当	その 他	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領收印
			宿 泊 料	料 金					
議員	市長級				A1451 C1+(F2+F1) 43,980 21,450	65,430	戸田 正人		
計		一 円	一 円	一 円	43,980 円	65,430 円	1 人		

整理番号

E2-1

令和 6年 5月 19日

活動報告書

創和クラブ経理責任者
芝本 和己様

報告者名 戸田正人

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6年 5月 9 日 ~ 令和 6年 5月 10日 (1泊 2日)
場 所	東京都 (池袋・青山)
目 的	池袋イケバズ視察等、ブルーオーランニアティック会員会議出席等
内 容	* 別紙添付。

政務活動視察の概要

創和クラブ戸田正人

5月9日（木）

18:20 和歌山発 くろしお30号

19:39 新大阪発 のぞみ188号

21:59 品川着 （目黒泊）

5月10日（金）

①10:00 池袋西口公園グローバルリング視察

豊島師範学校跡地にできた公園。平成2年に隣接する芸術劇場と一体的に再整備され、噴水と彫刻で皆様に親しまれていたが、新たな劇場公園として生まれ変わったのが「GLOBAL RING」である。区の将来都市像である「国際アート・カルチャー都市」の実現に向けて、文化芸術・地域の賑わい・情報発信拠点であり、開放的な雰囲気のなかで文化や芸術に触れ、噴水や照明が演出する幻想的な雰囲気にひたり、カフェでくつろぐ豊かな時を楽しめる公園であった。

②10:30 池袋南公園視察

豊島区立南池袋公園（みなみいけぶくろこうえん）は、東京都豊島区南池袋にある区立の公園である。2009年に再整備や地下変電所設置工事のため一時閉鎖したが、2016年4月2日にリニューアルオープンした。Racines FARM to PARK というカフェも新たに園内で営業を始め、毎日多くの人が訪れている。

③11:00 イケバス視察

グリーンスローモビリティ(時速19km以下で走行するEV駆動)のイケバスを視察してきた。イケバスは池袋の街をゆったり走る、人と地球に優しい真っ赤な電気バスで2019年から運行されている。

【運転士さんにインタビュー】

- 1, 豊島区が補助金を出し WILLER社が運行
- 2, イケバスの取り組みに賛同する企業がスポンサーになっている(広告でない)
- 3, 運転士は10人で池袋駅を拠点に東回り、西回りの2ルートを運行

4, 時間にせかぬスローな移動を好む人(顧客がついていること)

5, 外国人観光客をはじめとする観光コンテンツとして人気がある

6, 市民は池袋駅と豊島区役所間の乗車率が高い等

大通りからお店が立ち並ぶ狭小道路まで、グリスロバスならではの走行ルート
は、まさに市民の足であり、環境意識を伝えるツールでもあると思えた。

和歌山市においてもグリスロの実証実験を行なっており、イケバスはその先進的な取り組みであるということ。

本市における実証実験において、グリスロ等の脱炭素社会の実現に向けた取り組みをスタートさせていかなければならないが、これら環境事業及びMAASに対するマネタイズが複雑であり、今後の課題である。そのため、池袋の現場でインタビュー等実施し、今後の取り組みに向けた課題と情報を得ることができた。

④12:00 池袋まちなかリビング視察

居心地よく歩きたくなる、ウォーカブルなまちづくりを推進する豊島区の区制施行90周年事業の一環として開催している。

池袋駅東口に位置するグリーン大通りや南池袋公園を中心に、池袋のまちなかでリビングのように居心地良い空間へ、「まちなかリビングのある日常」をコンセプトに、ストリートファニチャーの社会実験や、2ヶ月に1度のマーケット等を開催している。その他、池袋の様々な企業や店舗、施設との連携も予定のこと。まちなかの回遊を促進、歩きたくなるまちを目指す。

参照

<https://ikebukuropark.com/livingloop/>

① 12:30 豊島区民中央図書館視察

⑥13:30 一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブ主催

共創コミュニティ「ブルーオーシャン・リーダーズ」会議

処：事業構想大学院大学東京校別館

出席者：戸田和歌山市議会議長、坂野和歌山市理事、池端和歌山市環境政策課長

代島裕世代表理事の挨拶

⑦13:40 東北大学 大学院生命科学研究科 近藤倫生教授 講演

ネイチャーポジティブという概念を学ぶ。ネイチャーポジティブとは、自然生態系の損失を食い止め、回復させていくことを意味する言葉で、生物多様性や自然資本の観点から、社会・経済活動による自然への負の影響を抑え、プラスの影響を与えることを目指す概念である。

世界的な動向においても、2020年から2030年にかけて生物多様性の損失を反転させ、2050年には完全回復を目指している。

また、近藤教授は海洋における環境DNAの観測であるANEMONEを主幹し全国77か所、496拠点、830人の市民ボランティアによる観測を行っており、各地の海水からDNA採取し分析することにより、生態系や環境変化をデータで示すことに成功している。

【参照】

https://anemone.bio/anemone_ja/

生物多様性環境ネットワーク・海洋DNAをオープンソースとしている

⑧14:15 東北大学大学院生命科学研究科教授 近藤倫生氏×日本郵船株式会社 ESG経営グループサステナビリティイニシアティブチーム・チーム長 長澤香氏×一般社団法人サステイナビリティセンター代表理事 太齋彰浩氏のトークセッション

日本郵政がANEMONEの取り組みに共感し、海外定期航路において各海洋における海水の採取を協力している。日本郵政は他にも独自のファンドを活用し御殿場の森林保全等に努めている。自社のアセットをいかに社会に還元できるのかを会社のミッションとして創造しているとのこと。

また太齋氏は地域側も何が課題であるかを肌感覚で例えるのではなく、データに基づき論じるべきとのこと。ネイチャーポジティブに関しては、ひとりひとりが自然の価値を正しく理解すること、また、それらの人材創りが必要とのこと。

⑨15:05 各分科会のポスターセッション

・ブルーカーボン分科会・マイクロプラスチック問題分科会に参加

両分科会とも行政課題において切っても切り離せないもの。まさに両者の課題を掘り下げ、様々なプレストを通じてソリューションを構築していく手法。本市においても行政課題解決だけでなく、新たなグリーンビジネスにおけるスタートアップのきっかけとなる。環境政策課だけの見地でなく、企画政策や産業政策、

更には移住政策課等もキャッチアップしていくべきと痛感した。

16:15 終了

17:00 意見交換

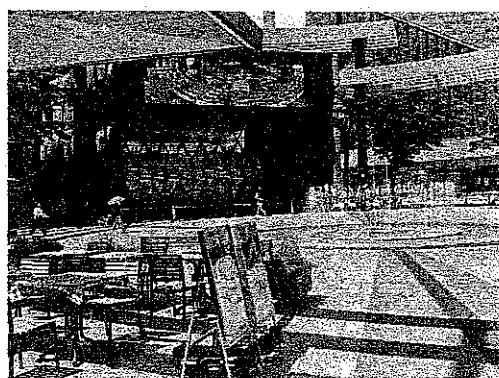
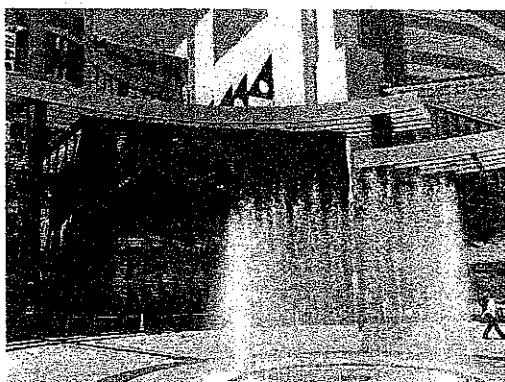
19:07 品川発 のぞみ 253号

21:44 新大阪発 くろしお 33号

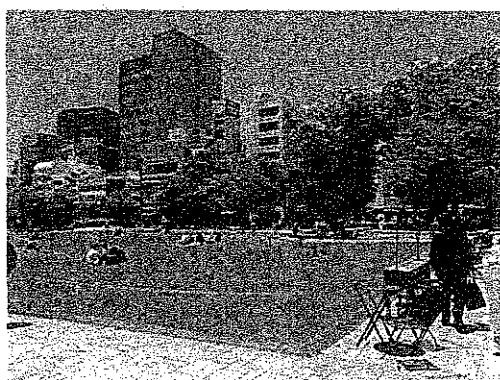
22:55 和歌山着

【資料】

① 池袋西口公園グローバルリング



② 池袋南公園



③ イケバス



④ 池袋まちなかリビング



⑤ 豊島区中央図書館

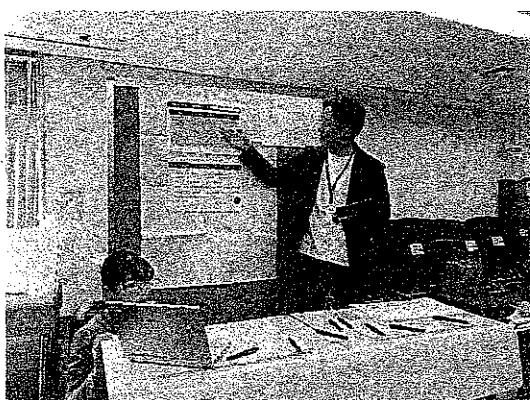


E2-1

⑥ 共創コミュニティ「ブルーオーシャン・リーダーズ」会議



⑨ ブルーオーシャン分科会ポスターセッション



政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	E3 - 1

項目

- 研究研修費 調査費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

支出年月日	令和 6 年 8 月 6 日	
支出額	197,945 円 (按分率 %)	
支出内容	旅費(台湾 7/28 ~ 7/31) ・台湾サミット参加	

備考 ※ 旅費請求内訳表別途添付。

E 3-1

旅費請求内訳表

旅行先		用務						旅行期間		日数							
台南市、高雄市(特別職)		日台交流サミットin台南及び高雄市議会・市政府表敬訪問等						自7月28日 至7月31日		3泊4日							
月日	旅行経路	路 程 km	鉄道賃			船 航 空 賃	車 賃 実費又 は定額	日当	宿泊料	摘要							
			運 賃	特 別 車 両 料 金	急 行 料												
7/28	和歌山市 - 台南市 高雄市									バス移動の ため、旅費及 び日当の調整 宿泊施設指 定のため宿 泊料の調整 丙地方 人事課計算 (24-0071)							
							106,000	9,595 33,700	2,850	35,850							
7/31	高雄市 - 和歌山市																
計			-	-	-		106,000	43,295	2,850	35,850	合計 ¥197,945 円						
航空機利用区間				日当 市長級 2,850円×1(昼食) 宿泊料 市長級 5,000円×1(夕食・パック旅行分) 高雄国際空港→関西国際空港 16,300円×1(宿泊朝食付き、パック旅行) 7,275円×2(宿泊朝食付き)													
請求書																	
下記のとおり請求します。																	
令和6年 7月 日 創和クラブ 代表者 中村 元彦 様																	

所 属	等級	運 賃	日 当	そ の 他	旅 費	支 給 額	氏 名	請求印	領收印
位			宿 泊 料	料 金	定 額 表				
	市長級	149,295	2,850	9,950		197,945	戸田 正人		
議 員			35,850						
計		149,295 円	38,700 円	9,950 円	- 円	197,945 円	1 人		

御請求書

日付：2024年7月25日

日台友好 和歌山市議会議員連盟 様

旅行先：台湾(台南市～高雄市) 3泊4日

旅行期日：2024年7/28(日)～7/31(水)

算出人員：17名

阪和ワールドツーリスト株式会社

TEL: 0640-8157

和歌山県和歌山市八条下18番地

TEL: 073-424-0166 FAX: 073-424-0138

担当：河合

Mobile: 090-XXXX-XXXX

Email: XXXXXXXXX@XXXXXX.XX

登録番号：T4-1700-0100-2743

※※※※※ お振込先※※※※※

紀陽銀行本店営業部 普通口座No. 1234567890

阪和ワールドツーリスト株式会社

振込手数料は、お客様ご負担でお預り申し上げます

ご請求金額：￥3,244,495

種別	品名	税込 料金	数量	単価	金額	割引 区分
AIR	往復航空運賃(チャイナエアライン 航空利用)	86,000	17	86,000	1,462,000	
II	7/28(日) 0157 関西(13:10) → 台北(桃園)(15:05)					
II	7/31(水) 0176 高雄(15:35) → 関西(19:35)					
II	※往復共エコノミークラス(料金変動制/乗客手数料含む)					
7/28 現地バス	大型バス(現地スタッフ付トイレ無)1台	350,540	1	350,540	350,540	
7/29 現地バス	大型バス(現地スタッフ付トイレ無)1台	83,385	1	83,385	83,385	
7/30 現地バス	大型バス(現地スタッフ付トイレ無)1台	83,385	1	83,385	83,385	
7/31 現地バス	大型バス(現地スタッフ付トイレ無)1台	55,590	1	55,590	55,590	
7/28 宿泊費	台南市: 日升大飯店(お客様が手配)					
7/29 宿泊費	台南市: 日升大飯店(お客様が手配)					
7/30 宿泊費	高雄市: ハーバードラグ(禁煙シングル利用/1泊朝食付)	16,300	17	16,300	277,100	
II/28 夕食	台中市内	5,000	17	5,000	85,000	
航空送迎バス	大型バス(ガソ無/トイレ無/往復送迎/回送料含む)1台	145,615	1	145,615	145,615	10%
II	通行料(駐車料)(概算)	17,500	1	17,500	17,500	10%
II	※往路 山本議員1名分を除く					
その他	海外旅行傷害保険(契約タイプ903)	7,970	15	7,970	119,550	
II	海外旅行傷害保険(契約タイプ907)	9,140	2	9,140	18,280	
II	日本・台湾出入国書類作成	2,200	17	2,200	37,400	10%
II	燃油サーチャージ等(2024年7月10日時点)	20,000	17	20,000	340,000	
II	その他諸税(国際観光税/現地空港税等)	6,850	17	6,850	116,450	
II	※客船税は、添乗料上(2024年7月10日時点)により変動します。					
II	関西空港施設使用料	3,100	17	3,100	52,700	10%
II						
II						
II						
II						
II						
II						
ご旅行代金合計(消費税込)						￥3,244,495

対象額(税抜)

消費税額

消費税10%対象	230,196	消費税10%	23,019
消費税8%対象		消費税8%	
消費税0%対象	2,991,280	非課税	

①+②= ￥3,244,495

小計 ① 3,221,476

小計 ② 23,019

品名欄の「*」は 軽減税率対象であることを示します

令和 6 年 9 月 27 日

活動報告書

創和クラブ経理責任者
芝本 和己 様

報告者名 遠藤富士雄、北野均、井上直樹
古川祐典、戸田正人、芝本和己、辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 7 月 28 日 ~ 令和 6 年 7 月 31 日 (3 泊 4 日)
場 所	① 台湾 台南市 ② 台湾 高雄市
目的	台南市議会が開催する「第 10 回日台交流サミット in 台南」に参加し、台湾及び日本の地方議員と友好交流に関する意見交換を行うため。また、同じく覚書を締結している高雄市議会及び市政府を表敬訪問し、相互理解を深め、両市の各分野の交流を進めるための意見交換を行うため。
内 容	

去る 7 月 28 日 (日) ~ 7 月 31 日 (水) の 4 日間の日程で丹羽直子議長をはじめ、日台友好和歌山市議会議員連盟 遠藤富士雄会長、北野均副会長、川端康史副会長、井上直樹幹事長 古川祐典議員、戸田正人議員、奥山昭博議員、山本忠相議員(29 日より合流)、芝本和己議員、新古祐子議員、清末博善議員、山路恭世議員、辻本太一議員の 14 名と産業交流局観光国際部国際交流課 職員 1 名議会事務局秘書広報課 職員 1 名 議会政策課 職員 2 名 総勢 18 名で訪問させていただきました。

加えて、奈良県高取町の新澤議長が都市間交流の進め方について、全国日台友好議員協議会の理事長でもある遠藤会長に相談があり、和歌山市の活動を勉強し、視察へ同行したいとの旨の申し出があつたため、都市間交流・サミット参加へ同行していただきました。

この度の訪問は本市議会と友好交流に関する覚書を締結している台南市議会が開催する「第 10 回日台交流サミット in 台南」に参加し、台湾及び日本の地方議員と友好交流に関する意見交換を行うため。また、同じく覚書を締結している高雄市議会及び市政府を表敬訪問し、相互理解を深め、両市の各分野の交流を進めるための意見交換を行うための訪問であります。

初日、7月28日は、13:10 関西空港発 チャイナエアラインで、台北市は桃園国際空港に15:05に到着いたしました。初日の予定は台南市議会の邱莉莉議長への表敬訪問です。

桃園国際空港から、バスで移動し、台南市まで約5時間の移動です。我々の到着を待っていたいいる邱議長へいち早くお会いするため、夕食は台中市で急いで済ませ、再びバスでの移動です。時間は21時、ようやく、台南市、邱莉莉議長の事務所へ到着いたしました。サミット本番を明日に控え、また夜遅い時間にもかかわらず、邱議長並びに郭貞慧（かくていえ）台日文化友好交流協会 名誉会長、そして事務所スタッフの方々と非常に多くの方に出迎えていただきました。

邱議長からは日台交流サミットに参加のために台南市を訪れたことに対する歓迎のご挨拶をいただき、丹羽議長からは5年ぶりに台南市に訪れることができたことをうれしく思い、今後は相互訪問での人的交流だけでなく、覚書を踏まえて両市の様々な分野での交流を進めて行きたいと現地の言葉でご挨拶され、日台関係の意見交換などを行い、非常に和やかで有意義な交流のひと時となりました。

二日目、7月29日の日程は「第10回日台交流サミット in 台南」への参加です。

場所は台南市内のホテルにて、日本の国会議員、地方議員、民間団体の代表ら433名、台湾の各県・市の議員ら138名、そして台湾に友好的なサークルの20名が参加し、過去最大規模での開催となりました。

来賓紹介の後に頼清德総統からビデオメッセージが寄せられ、日台双方からのゲスト全員を歓迎すると共に、「日台交流サミット」が10年目を迎えたことへのお祝いの言葉を述べされました。

基調講演では、元 外務省領事局長であり日本台湾交流協会 前 台北事務所代表の沼田幹夫氏が登壇し、「第二の故郷台湾を思うこと」をテーマに、外交官としての視点から日台関係の変遷を分析して述べられました。

続いて、全国日台友好議員協議会報告では遠藤富士雄会長の登壇し、全国日台友好議員協議会の理事長として今年度の事業内容や会員数などを報告いたしました。

続いて、台南市議会の邱議長が、「台湾は日本を、日本は台湾を必要としている」と、経済、教育、文化、技術などの連携促進を盛り込んだ「台南宣言」を読み上げ、これを採択された次第であります。また、サミットの最中に別の会議室を特別に用意していただき、黄偉哲 台南市長と面談いたしました。内容は、サミットの参加と和歌山市と台南市の友好交流に関して謝辞を述べられ、対して丹羽議長は今後、様々な分野での両市の交流が進めていくことを期待するとお応えになられました。さらに黄市長は和歌山市に行ったことがないので、和歌山市に訪問したいと話され、日本さらには和歌山市にご関心を持たれて、終始和やかな雰囲気で意見交換が行われました。